

■市民アンケート調査結果

草津市の「将来のまちづくり」のため、 あなたの意見を、お聞かせ下さい！

～ 中心市街地活性化に向けた市民アンケート調査～

中心市街地活性化に向けて

本市の「中心市街地」は、古くから市全体の元気発信の中心となっていますが、近年では車などを使った生活の変化により、少しずつ活力が失われつつあります。

このまま中心市街地が衰退すると、市全体の活力も失われてしまうため、本年度、「中心市街地活性化基本計画」の策定に取り組み、総合的な、まちのにぎわいを再生するものです。

※詳しくは、広報6月1日号に掲載されています。
(草津市のホームページに掲載)



草津駅周辺の中心市街地に関する アンケート調査をお願いします。

草津市民の皆さまに、これからの中心市街地のあり方や、具体的な取組を考えるうえでの基礎資料として、アンケート調査をさせていただきます。

お手数ですが、別紙のアンケート用紙にお答えいただきますようお願いいたします。

なお、草津駅周辺の中心市街地の場所は、裏面を参照してください。

アンケートにお答えいただきましたら、お手数ですが、
7月13日(金)までに、同封の返信用封筒に入れ、最寄りの郵便ポストにご投函ください。
よろしくお願ひいたします。



【調査票へのご記入にあたって】

●この調査は、平成24年6月1日現在で草津市にお住まいの18歳以上の市民のなかから3,000人を無作為に選んでご協力をお願いしております。
封筒のあて名の方ご本人がご回答ください。

※何らかの理由でご本人による回答が難しい場合は、ご本人のお考えを尊重し代理の方がご記入頂きますようお願い致します。

- すべての回答内容は統計的に処理して、調査結果は所期の目的にのみ用い、プライバシーの保護に万全を期します。
- 住所・氏名・連絡先などを記入していただく必要はありません。
- ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れて封をし、無記名のまま

7月13日(金)まで

に最寄りの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
(お問い合わせ先)

草津市 総合政策部 まちなか再生課 電話(077)561-2399(直通)

・この調査についてのお問い合わせなどございましたら、下記へご連絡ください。
 ・ Please call this number as follows , if you have any questions about this reserch.
 ・ 본 조사에 관한 문의 사항은 다음으로 연락해 주십시오.
 ・ 关于这次调查如果有什么联络的事情的话，请和下面的地址联络。
 ・ Para maiores informações sobre este questionário, procure a direção abaixo.
 ・ Si hay preguntas sobre esta encuesta consulte llamando a los números siguientes:
 TEL 077-561-2399

■アンケート調査結果の分析（基本方針への市民意見の反映）

○市民の日頃の暮らしについて

市民は日頃の買い物を草津駅周辺の大規模小売店舗または駅周辺以外のスーパーマーケットで行っていることが多い。草津駅周辺の大規模小売店舗は中心市街地エリアであり、中心市街地エリアに対して商業機能が求められていることがわかる。しかし、中心市街地エリア内にも関わらず、旧街道商店街で買い物をする人は少なくなっているという課題も見られる。

また、駅周辺以外のスーパーマーケットが多く挙げられるのは、その店舗で買い物をする理由として、自宅から近いことが重要になっているため、駅周辺でなく、自宅の最寄のスーパーマーケットが利用されていると考えられる。

このような結果から、日頃の買い物については、店舗までのアクセスのよさが重要であることがわかる。また、スーパーマーケットのような一度に何でも揃う小売店が多く利用されていることから、商業機能の集積が求められていることがわかる。

○市民が中心市街地に求めるものについて

現在の中心市街地に対して、市民は京阪神への通勤や日頃の買い物が便利なまちというイメージ、また、草津宿本陣などもあることから歴史的な風情のあるまちとのイメージも持っている。一方で、おしゃれで華やかなまちといったイメージを持っている人はほとんどいない。

今後の中心市街地に対しては、便利なまちのイメージは維持しつつ、緑豊かでうおいのあるまちや歩くことが楽しいまちといった現状にない高質な都市空間のイメージが求められている。また、子育てしやすいまちやお年寄りにやさしいまちといった福祉の面でも充実したまちのイメージが求められている。

中心市街地を活性化するための大きな要素のひとつである商業機能については、物販の総合的な店舗に加えて、オープンカフェなどの解放感のある飲食店や安くて手軽な飲食店、地元の食材を使った飲食店、といったように飲食店に対して様々な形のものがあることが求められていることがわかる。また、サービスの種類ではなく、まちなみを彩るおしゃれな外観の店舗も多く求められている。

このような結果から、現在の中心市街地のよいところである便利さは維持しながら、歩いて楽しい、高質な都市生活のための空間や店舗配置が求められていることがわかる。また、子育て世代やお年寄りが身近な生活をしやすいまちとして、福祉的要素も求められていることがわかる。

⇒「基本方針1：まちの強みをいかし、拠点形成とそのネットワーク化を図る」ことで、中心市街地エリア内に集積する集客施設間を人々が歩き、楽しく過ごせる便利なまちを実現する。

⇒「基本方針2：草津の活力を生み出す新たな事業者を創出する都市環境の形成を図る」ことで、高質な都市生活のための空間や店舗配置を実現する。

⇒「基本方針3：「子ども」から「お年寄り」までの暮らしを支えるコミュニティや都市機能の強化を図る」ことで、子どもも子育て世代の親もお年寄りも身近な生活がしやすいまちを実現する。

中心市街地活性化に向けた市民アンケート調査 結果

①送付・返信結果

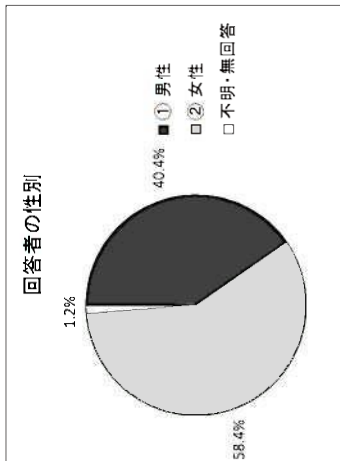
郵送数 3,000 通（うち、15 通は返却） 返却数 1,292 通（回収率：43.1%）

②回答結果

1. あなたご自身のことについてお伺いします。

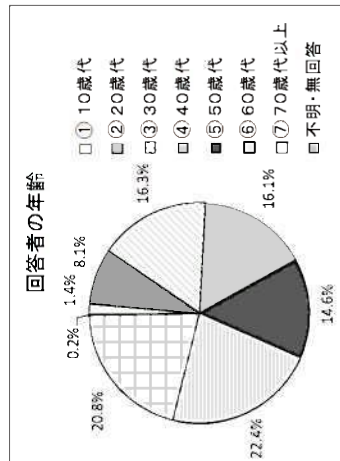
(1) あなたの性別は？ あてはまるもの1つに○を付けてください。

回答者の属性については、「男性」：「女性」＝4：6の割合になっており、「女性」の回答者のほうがやや多くなっている。



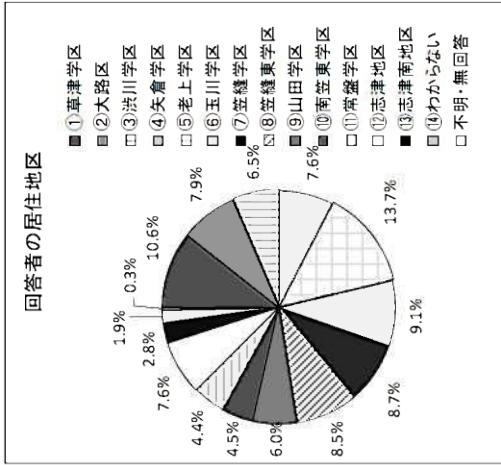
(2) あなたの年齢は？ あてはまるもの1つに○を付けてください。

回答者の年齢については、「60歳代」、「70歳代以上」の割合が20%以上と高く、次いで、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」となっており、「10～20歳代」の若い層の回答者は少ない。



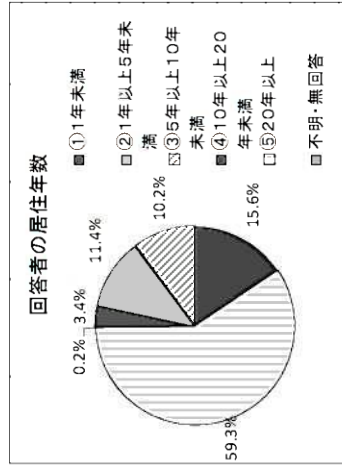
(3) あなたのお住まいはどこですか？ あてはまるもの1つに○を付けてください。

回答者の居住地区については、人口の最も多い「老上学区」、「草津学区」、「玉川学区」の順に多くなっていく。また、中心市街地エリアの学区（草津学区、大路区、戦川学区）の回答割合は、約25%となっている。



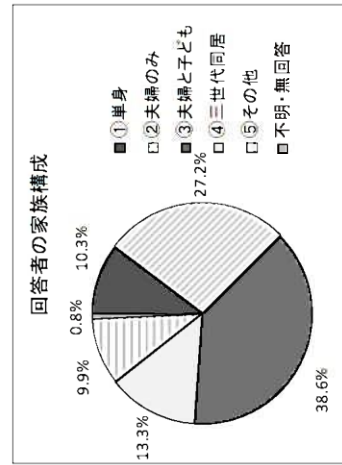
(4) あなたは草津市に何年お住まいですか？ あてはまるもの1つに○を付けてください。

回答者の草津市での居住年数については、「20年以上」が約60%と最も多く、居住年数が長いほど回答率が高くなっている。



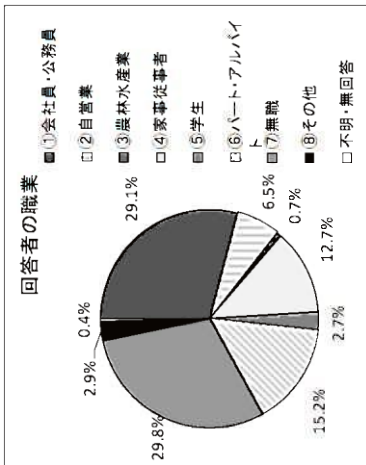
(5) あなたの家族構成はどれにあたりますか？ あてはまるもの1つに○を付けてください。

回答者の家族構成については、「夫婦と子ども」が約40%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」が多くなっており、核家族の回答者が多くなっている。



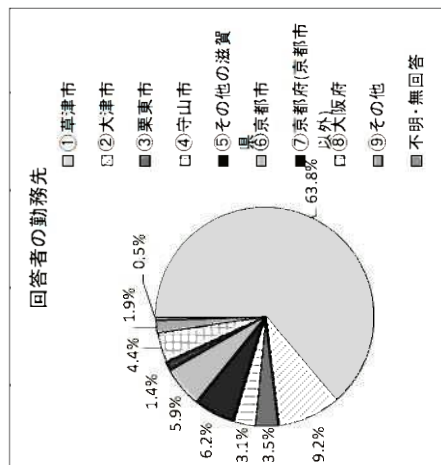
(6) あなたのご職業は何ですか？ あてはまるもの1つに○を付けてください。

回答者の職業は、「無職」、「会社員・公務員」が約30%と最も多く、次いで、「パート・アルバイト」、「家事従事者」となっており、「学生」や「農林水産業」の回答率は低くなっている。



(7) あなたの勤務先はどこですか？ あてはまるもの1つに○を付けてください。

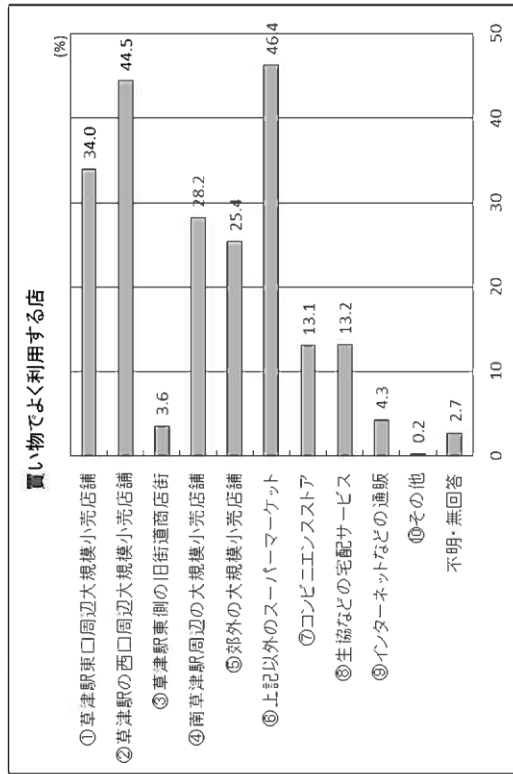
回答者の勤務先については、「草津市」が約60%と最も多く、その他の隣接する都市やJRでの通勤とみられる京都や大阪は、10%以下となっている。



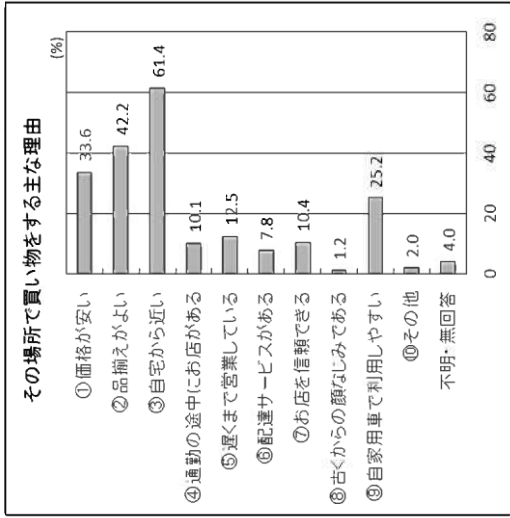
2. あなたの日頃の暮らしについてお伺いします。

(1) 日用品や食料品の買物でよく利用するお店はどこですか？ 主なものに○を付けてください。(複数回答可)

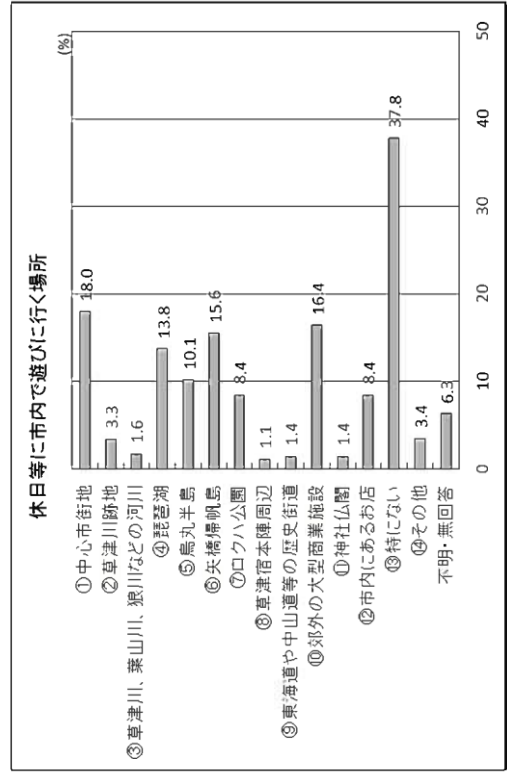
回答者が日頃よく買物する場所については、居住地からの最寄りのスーパーマーケットなどの「上記以外のスーパーマーケット」とエイヌスクエアなどの「草津駅西口周辺大規模小売店舗」が40%以上で最も多く、近鉄百貨店などの「草津駅東口周辺大規模小売店舗」や「南草津駅周辺の大規模小売店舗」などの駅周辺の店舗も多くなっている。しかし、駅周辺である「草津駅東側の旧街道商店街」は約4%と最も低い割合になっている。



(2) そこで買物をする主な理由は何か？主なものに○を付けてください。(3つまで)
 回答者が(1)の場所で買物する理由については、「自宅から近い」が最も多く、「品揃えがよい」
 「価格が安い」、「自家用車で利用しやすい」の順に多くなっている。

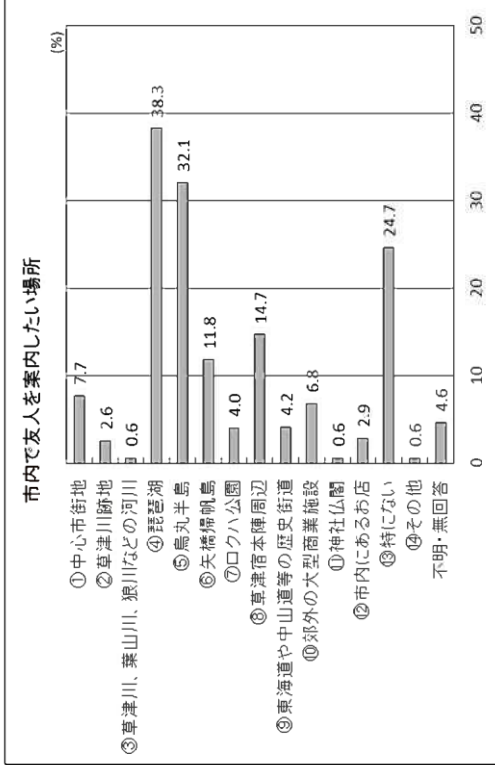


(3) 休日などに市内で遊びに行く場所はありますか？主なものに○を付けてください。(複数回答可)
 回答者が休日草津市内で遊びに行く場所については、「郊外の大型商業施設」、「中心市街地」、「矢橋
 船帆島」が15%を超えているが、「特にない」が約40%と最も多くなっている。



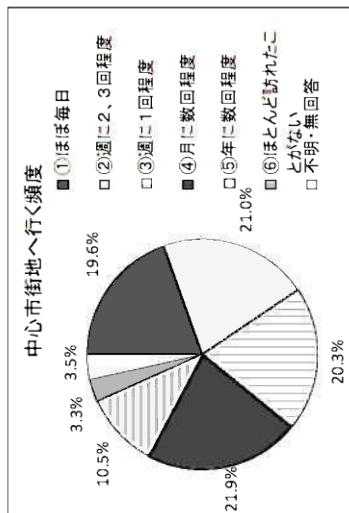
(4) 市外の友人が訪れた際、市内で案内したい場所がありますか？主なものに○を付けてください。
 (複数回答可)

回答者が草津市内で友人を案内したい場所については、「琵琶湖」が約40%と最も多く、次いで、「烏
 丸半島」となっており、琵琶湖周辺が多く挙げられている。一方で、「特にない」と答えた人の割合も約
 25%と多くなっている。

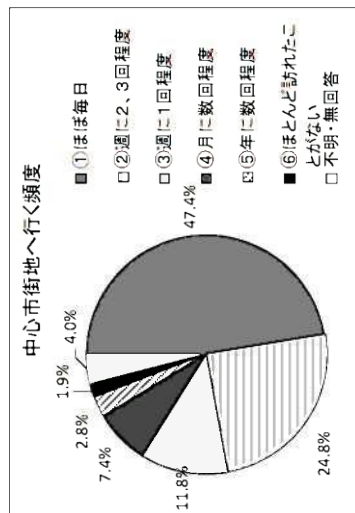


3. あなたの中心市街地の利用状況についてお伺いします。

(1) 中心市街地へは、どの程度の頻度で訪れていますか？ あてはまるもの1つに○を付けてください。
 回答者の中心市街地の利用頻度については、「ほぼ毎日」、「週に2、3回程度」、「週に1回程度」、「月に数回程度」がそれぞれ約20%ととなっている。一方、「ほぼ訪れたことがない」と答えた人は約3%であり、多くの人が何かの形で中心市街地を利用している。

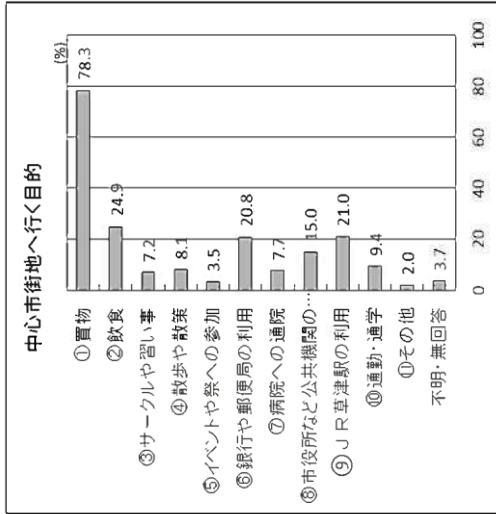


中心市街地エリア内学区(草津学区、大崎区、沢川学区)居住者における中心市街地の利用目的については、「ほぼ毎日」が約50%と最も多く、次いで、「週に2、3回程度」が約25%と多くなくなっており、草津市全体でみた場合よりも中心市街地エリア内学区居住者のほうが中心市街地の利用頻度は高くなっている。



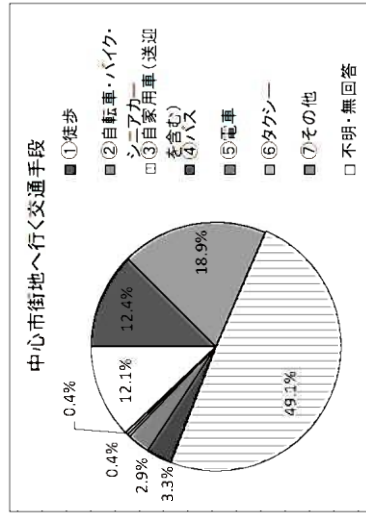
(2) 中心市街地を訪れる目的は何ですか？ 主なものに○を付けてください。 (複数回答可)

回答者の中心市街地の利用目的については、「買い物」が約80%と最も多く、「飲食」、「銀行や郵便局の利用」、「JR草津駅の利用」がそれぞれ20%以上で続いている。



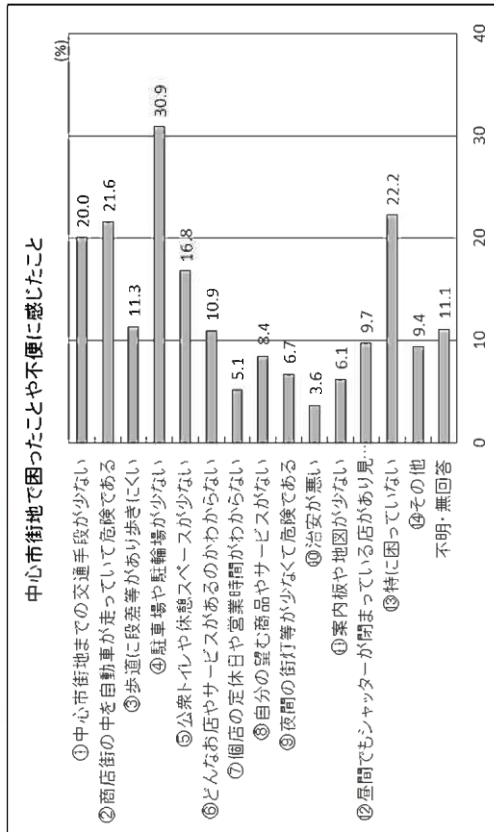
(3) 中心市街地までの交通手段は何ですか？ あてはまるもの1つに○を付けてください。

回答者の中心市街地までの交通手段については、「自家用車(送迎を含む)」が約50%で最も多く、次いで「自転車・バイク・シニアカー」、「徒歩」が多くなっており、「バス」や「電車」などの公共交通の利用率は低くなっている。



(4) 中心市街地で困ったことや、不便に感じたことはありますか？ 主なものに○を付けてください。
(複数回答可)

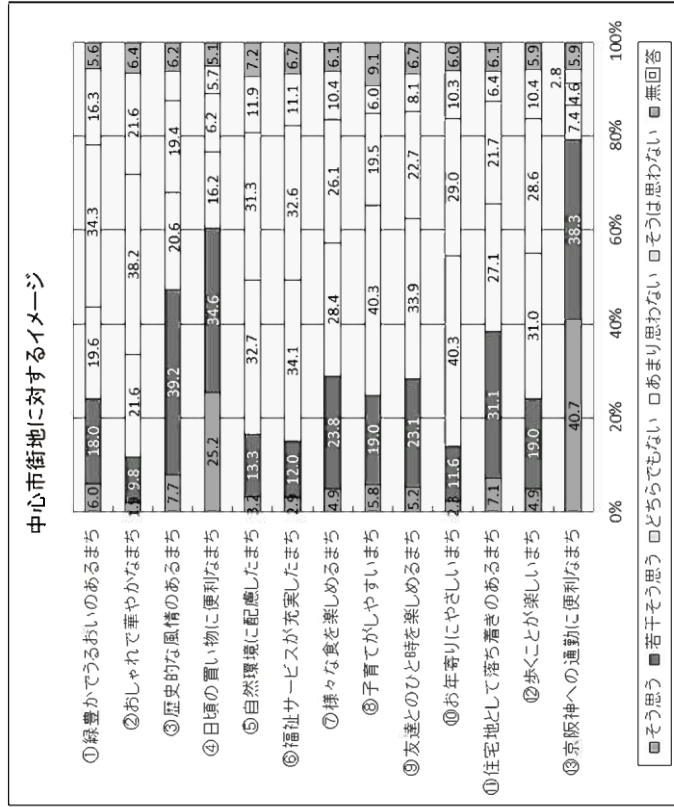
回答者が中心市街地で困ったことについては、「駐車場や駐輪場が少ない」が約30%で最も多く、回答者の中心市街地までの交通手段で最も多かった「自家用車」との関係が大きくなっている。また、「中心市街地までの交通手段が少ない」、「商店街の中を自動車か走って危険である」も20%を超えているが、「特に困っていない」も約22%と多くなっている。



4. 中心市街地に対するイメージについておたずねします。

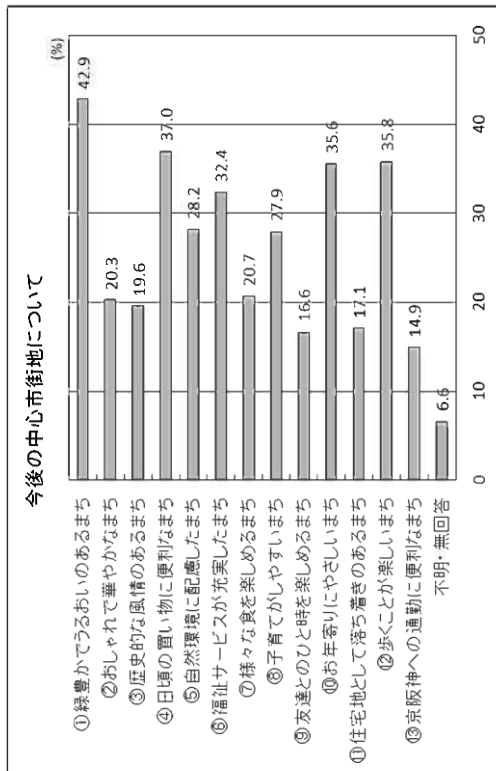
(1) 現状の中心市街地に対して、どのような印象をお持ちですか。各設問について、「そう思う」《そう思う》《若干そう思う》《どちらでもない》《あまり思わない》《それは思わない》の5段階から、あてはまるものに○を付けてください。

回答者の現状の中心市街地に対するイメージについては、「京阪神への通勤に便利なまち」、「日頃の買い物に便利なまち」、「歴史的な風情のあるまち」の順に多くなっており、「おしゃれで華やかなまち」、「お年寄りにやさしいまち」が低い割合になっている。

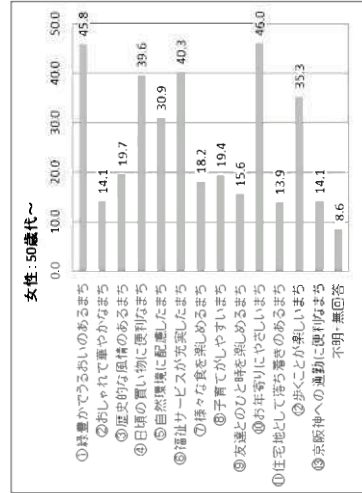
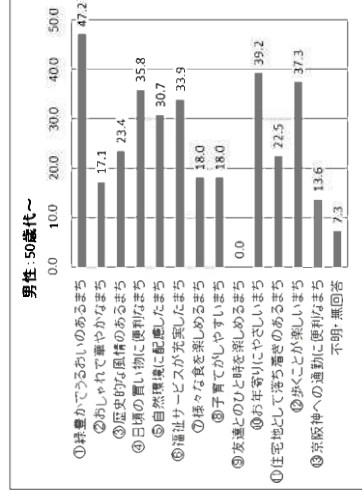
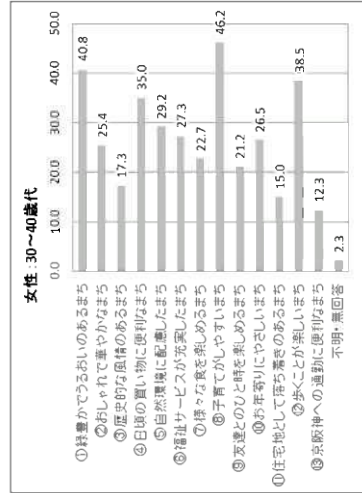
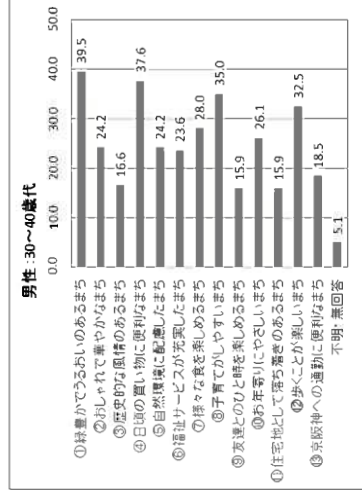
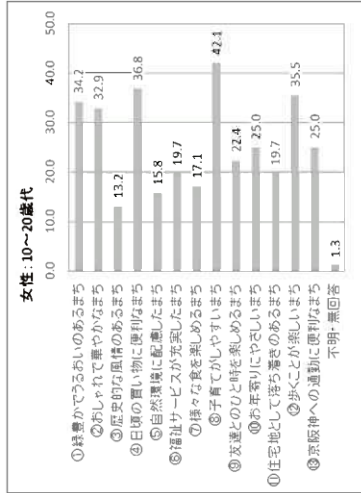
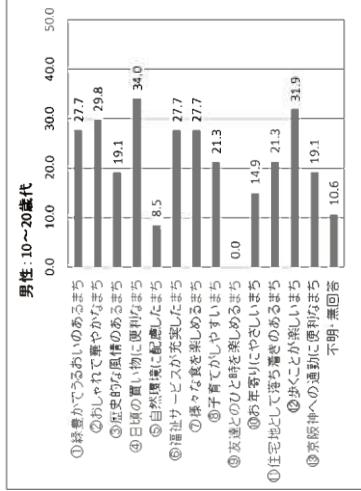


(2) 今後、中心市街地がどのようなまちなちになればよいとお考えですか。以下の中から、主なものに○を付けてください。(複数回答可)

回答者の望む今後の中心市街地のイメージについては、「緑豊かであるおのいのあるまち」が最も多く、次いで、現状でもイメージの強かった「日頃の買い物に便利なまち」、「歩くことが楽しいまち」、現状ではイメージが薄かった「お年寄りにやさしいまち」が多くなっている。



男女別年齢別にみた回答者の望む今後の中心市街地のイメージについて、40%を超えて多くなくってのは、50歳代以上と30～40歳代の女性で「緑豊かであるおのいのあるまち」、50歳代女性で「福祉サービスが充実したまち」と「お年寄りにやさしいまち」、10～20歳代と30～40歳代の女性で「子育てしやすいまち」となっている。

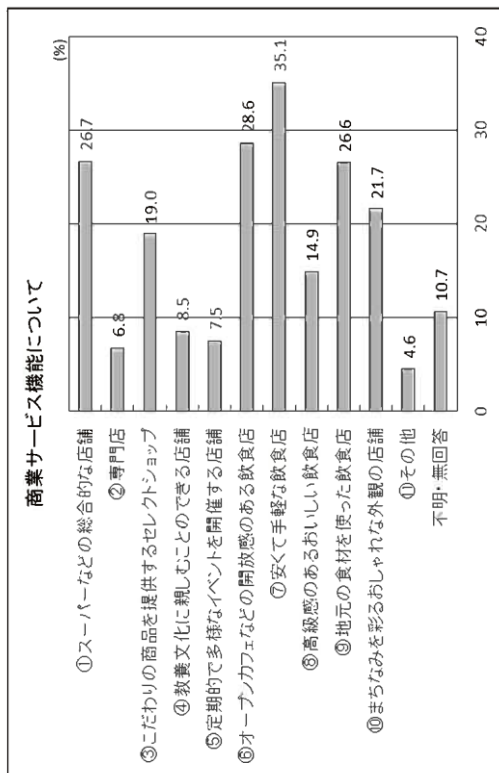


5. どのような機能があれば、中心市街地を利用しますか。

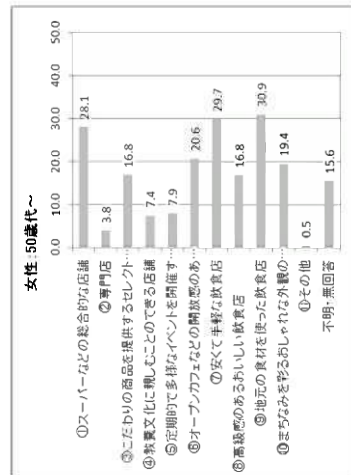
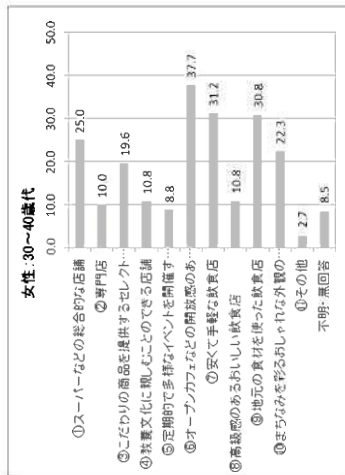
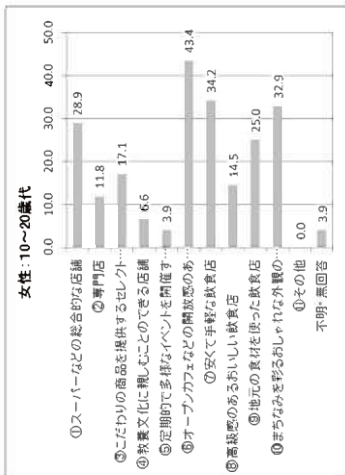
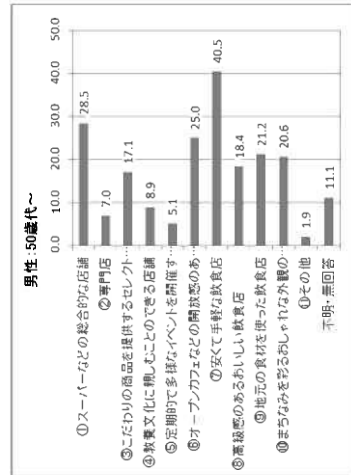
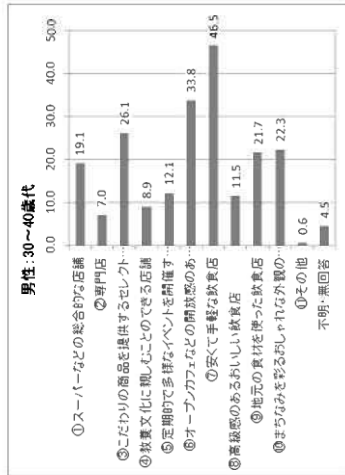
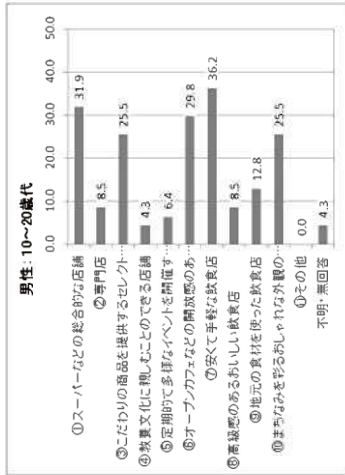
(1) 商業サービス機能として、何が充実すれば良いと思いますか？ 以下の中から、

主なものに○を付けてください。(複数回答可)

回答者の望む商業サービスについては、「安くて手軽な飲食店」が35%と最も多く、次いで、「オープンカフェなどの開放感のある飲食店」、「スーパーなどの総合的な店舗」、「地元食材を使った飲食店」が多くなっており、様々な飲食店を望む声が多くなっている。

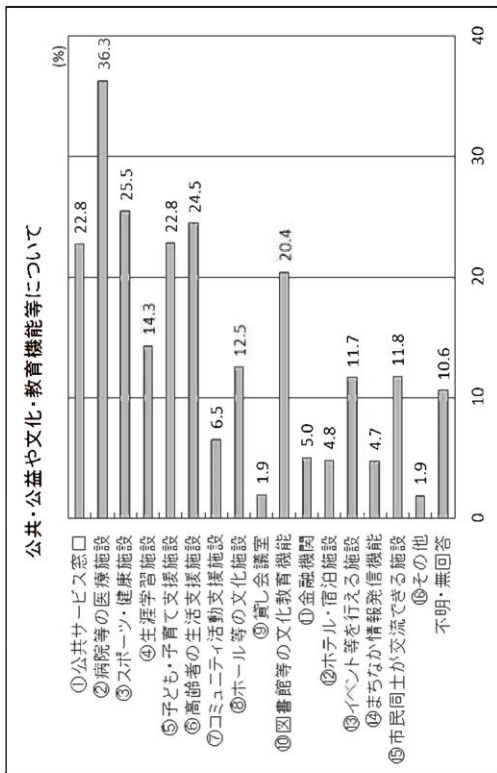


男女別年齢別にみた回答者の望む商業サービスについては、40%を超えて多くなくっているのは、10～20歳代で「オープンカフェなどの開放感のある飲食店」、30～40歳代と50歳代以上の男性で安くて手軽な飲食店」となっており、他の性別年代でもこの2つに加え、「地元食材を使った飲食店」も多くなっており、飲食店に対する要望が多くなっている。



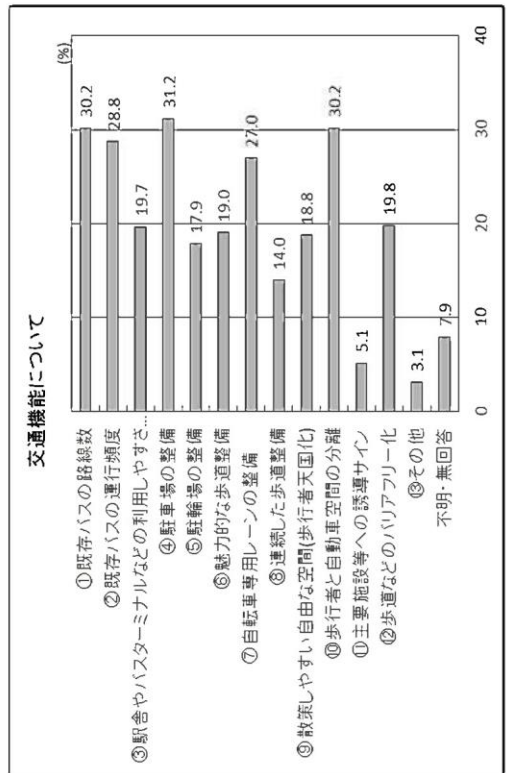
(2) 公共・公益や文化・教育機能等として、何が充実すれば良いと思いますか？ 以下の中から、主なものに○を付けてください。(複数回答可)

回答者が望む公共・公益や文化・教育機能については、「病院等の医療施設」が約40%と最も多く、次いで、「スポーツ・健康施設」、「高齢者の生活支援施設」、「子ども・子育て支援施設」、「公共サービス窓口」が20%以上と多くとなっている。

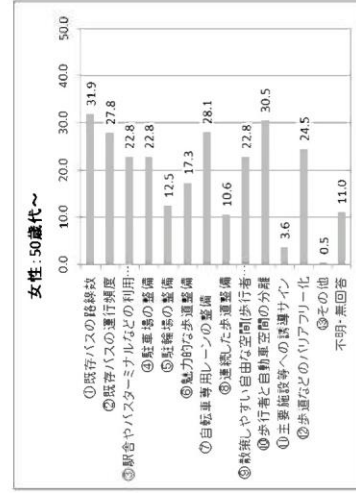
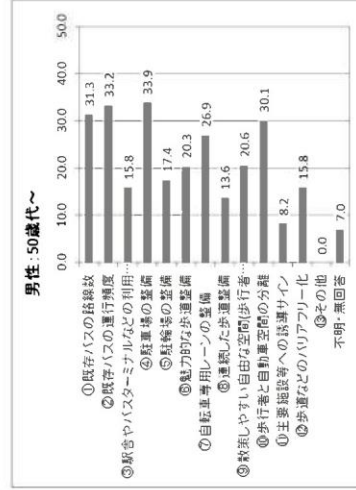
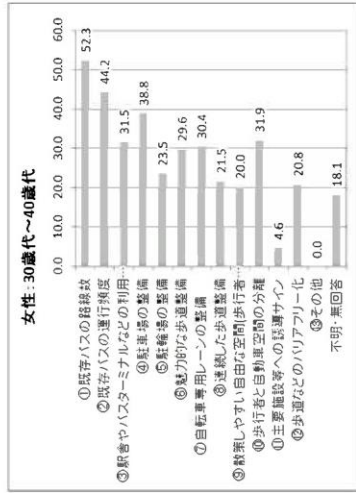
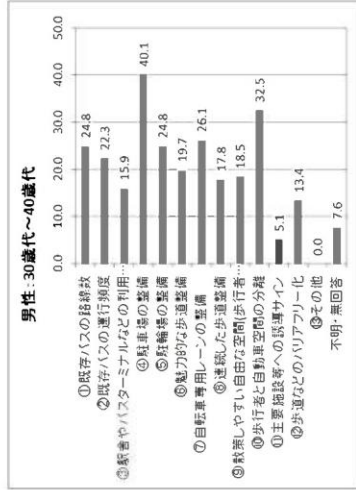
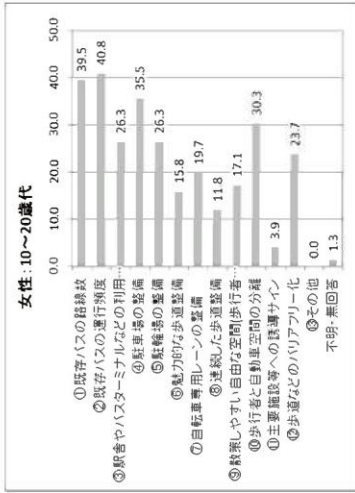
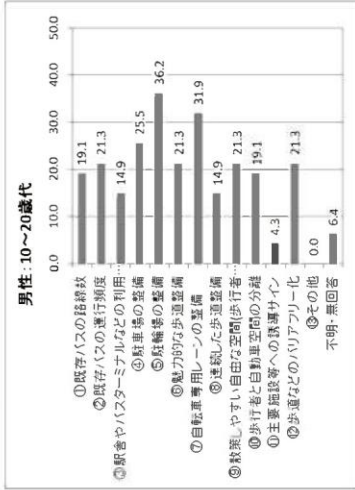


(3) 交通機能として、何が充実すれば良いと思いますか？ 以下の中から、主なものに○を付けてください。(複数回答可)

回答者の望む交通機能については、「駐車場の整備」が31%と最も多く、回答者の中心市街地までの交通手段で最も多かった「自家用車」との関係が大きくなっている。また、「既存バスの路線数」、「既存バスの運行頻度」も約30%と多くなくなり、既存バスの充実を望む声が多くなっている。

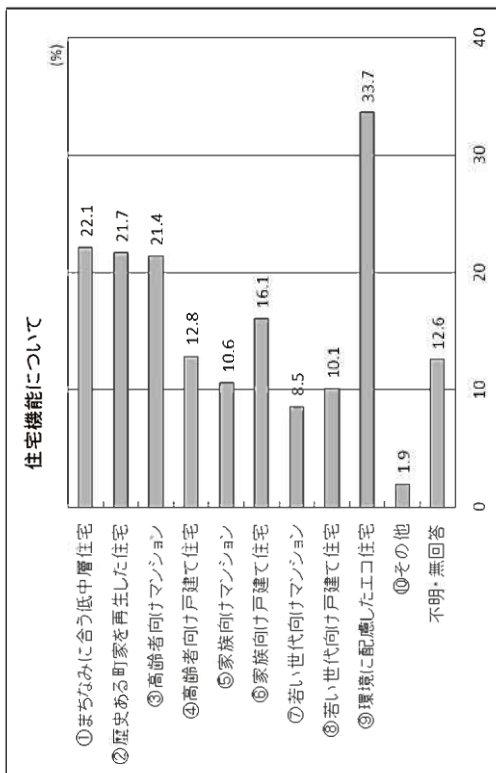


男女別年齢別にみた回答者の望む交通機能について、40%を超えて多くなくなっているのは、10～20歳代と30～40歳代の男性で「駐車場の整備」、30～40歳代の女性で「既存バスの路線数」、30～40歳代の男性で「駐車場の整備」となっている。また、男性よりも女性のほうがバスなどの公共交通への要望が多く、女性よりも男性のほうが自家用車利用への要望が多くなっている。



(4) 住宅機能として、何が充実すれば良いと思いますか？ 以下の中から、主なものに○を付けてください。（複数回答可）

回答者の望む住宅機能については、「環境に配慮したエコ住宅」が約35%と最も多く、次いで、「まちなみに合う低中層住宅」、「歴史ある町家を再生した住宅」、「高齢者向けマンション」が20%以上と多くなっている。



(5) 空間整備として、何が充実すれば良いと思いますか？ 以下の中から、主なものに○を付けてください。（複数回答可）

回答者の望む空間整備については、「公園の整備」が31%で最も多く、次いで、「休憩スペースの整備」、「街灯の整備」、「道路の整備」が多くなっている。

